



山川中学校だより

自律 親和 創造

第4号

令和8年7月17日(金)

文責：谷 陽子

○一学期の締めくくりにあたって

長く続いた梅雨が明け、本格的な夏の到来とともに危険な暑さが続いております。保護者の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆さまの温かい支えのおかげで、一学期を無事に終え、本日終業式を迎えることができました。生徒の皆さんが、大きな事件等に巻き込まれることなく、学校生活を送ってくれたことを教職員一同、何よりも嬉しく思っております。

■それぞれの学年の挑戦と成長

この一学期、生徒たちは各学年で新たな挑戦や学びに取り組み、大きく成長しました。

1年生：教科担任制の授業や部活動、防災学習など初めての経験に戸惑いながらも少しずつ環境に慣れ、「中学生として自分を磨こう」と努力する姿が見られました。

2年生：沖縄への修学旅行が大きな経験となりました。事前学習から平和について深く考え、現地で本物に触れて感じたすべてが、これからの学びの土台となるはずです。

3年生：すべての面において「山川中学校を背負っている」という自覚とがんばりが見られ、さすが最高学年だと感心させられました。進路実現に向けて能動的に授業に臨む真摯な姿も印象的でした。

■「3本の柱」の振り返りと夏休みの過ごし方

今年度本校が大切にしている「規律」「学び」「文化」の3本の柱について、生徒たちには終業式で一学期の歩みを振り返るよう促しました。

1つ目の「規律」においては、なすべきことを確実にやり遂げる「自律」の心を育んできました。学年や学級で決めた約束を自分なりに意識し、主体的に守る行動ができたかを問いかけてみました。

2つ目の「学び」においては、日々の授業へ能動的に向かう姿勢を大切にしてきました。学校でのこの前向きな姿勢を土台とし、夏休み中もスマホの誘惑に負けず自主学習を続けていくことが、「なりたい自分」を創る大きな力へとつながっていきます。

そして3つ目の「文化」は、来春に「この学級、学校でよかった」と思える学級・学校を創るための地盤だと考えています。これには2学期の生活が大きく影響します。充実した2学期への確かな一歩とするためにも、文化祭の準備や各種体験活動、体験入学などがあるこの夏休みの1日1日を大切に過ごしてほしいと願っています。



■家庭・地域での温かい見守りのお願い

次への飛躍の土台となる夏休みが、生徒の皆さんにとって意義深い日々となり、二学期の始業式に、元気に顔を合わせられることを願っています。こうした貴重な時間は、すべて生徒一人ひとりの健康と安全があつてこそ実現します。学校でも指導を行いましたが、事故や事件に巻き込まれないよう、夏休み中も引き続き「命を守る行動」を第一に考えていただければと思います。ご家庭や地域におかれましても、生徒たちの見守りと温かい声掛けをお願い申し上げます。



学校の様子を紹介します。

6月18日(木) 人権教育研究授業(3年生)

3年2組にて人権教育の研究授業を行いました。差別のない社会を築くために「自分はどう行動すべきか」を一人ひとりが真剣に考え、互いの意見を尊重し合いながら、課題を自分事として捉え、しっかりと考えを深め合いました。



6月29日(月) 全校集会・県総体壮行式

北部Bブロック総体で優秀な成績を収めたチームを表彰した後、壮行式を行いました。県大会への切符を手にした女子バスケットボール部、サッカー部、剣道部、男子ソフトテニス部(個人)が、それぞれ大会に向けた力強い意気込みを語ってくれました。



7月9日(木) 心肺蘇生法(AED)講習会

中央広域連合西消防署から署員の皆さまをお招きし、救命救急に関する講習会を実施しました。講習会では、一刻を争う緊急事態に遭遇した際、目の前の命を救うための「心臓マッサージの正しいやり方」や「AEDの確実な取り扱い方」などについて、実演を交えながら丁寧に指導していただきました。



7月9日(木) 夏の読書会

放課後、図書委員が主催する読書会が開かれました。3年生の図書委員は、「大型絵本の読み聞かせ」に挑戦し、1・2年の図書委員は、「おすすめの1冊」を紹介してくれました。そして、集まった大勢の生徒や教職員に、本の魅力をしっかりと伝えてくれました。

